

③家庭教育について



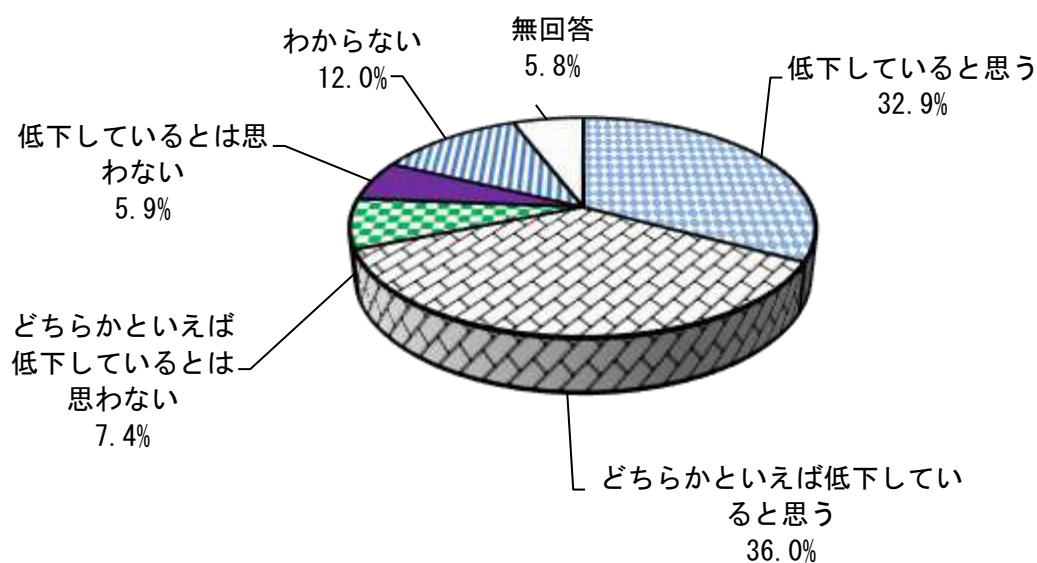
名古屋市では、子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぶことを「親学（おやがく）」と位置づけ、「親学」関連事業を展開しています。今回の調査では、市民の皆さまに、家庭教育に対する考え方などをおたずねし、今後の事業運営の参考とさせていただきます。

※このアンケートでの「家庭の教育力」とは、家庭において親または保護者が、子どもに豊かな情報や基本的な生活習慣、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的マナー、自制心や自立心などを身につけさせるために行う教育力をいいます。

※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

問11 あなたは、社会全体では家庭の教育力が低下していると思いますか。（○は1つだけ）

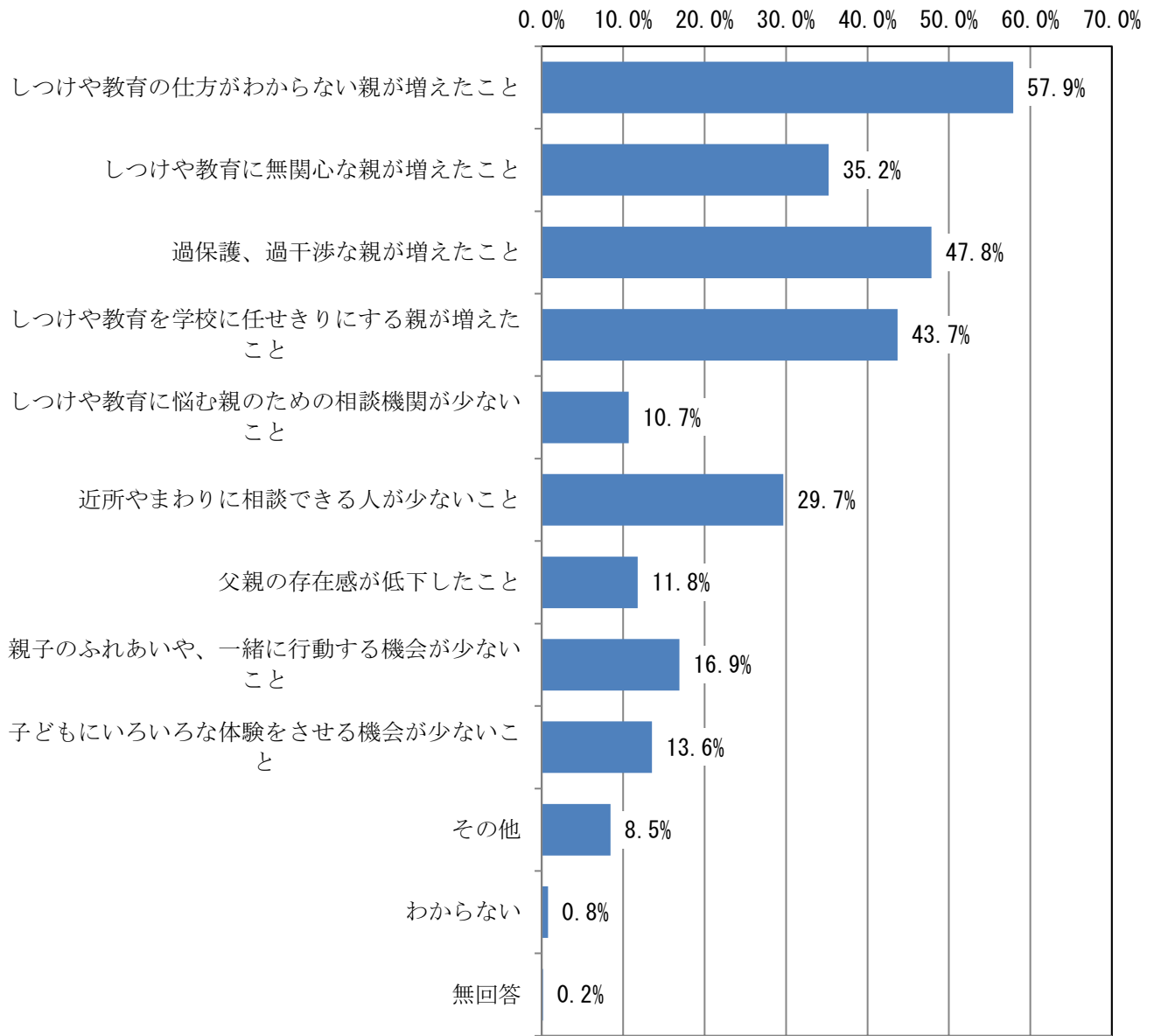
N=910



《問 11 で 1～2 と答えた方（家庭の教育力が低下していると思う方）におたずねします》

問12 あなたは、家庭の教育力の低下はどのようなことが原因だと思いますか。（〇は3つまで）

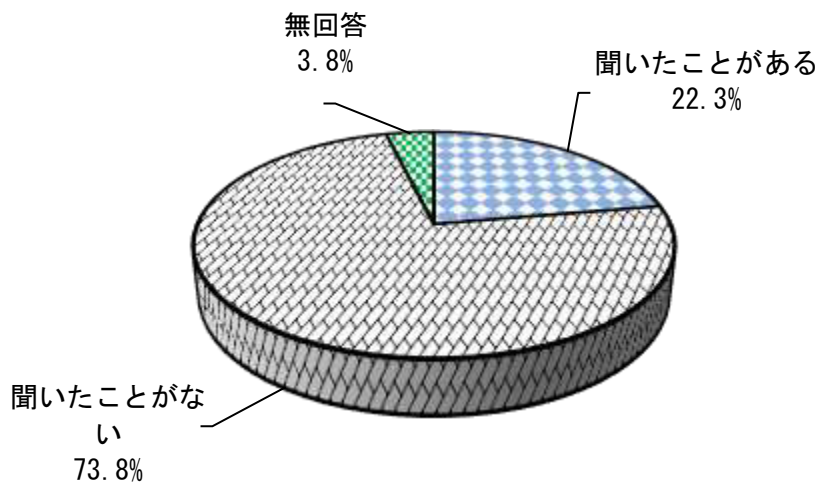
N = 627



《すべての方におたずねします》

問13 あなたは、名古屋市が提唱している「親学（おやがく）」という言葉を知っていますか。（○は1つだけ）

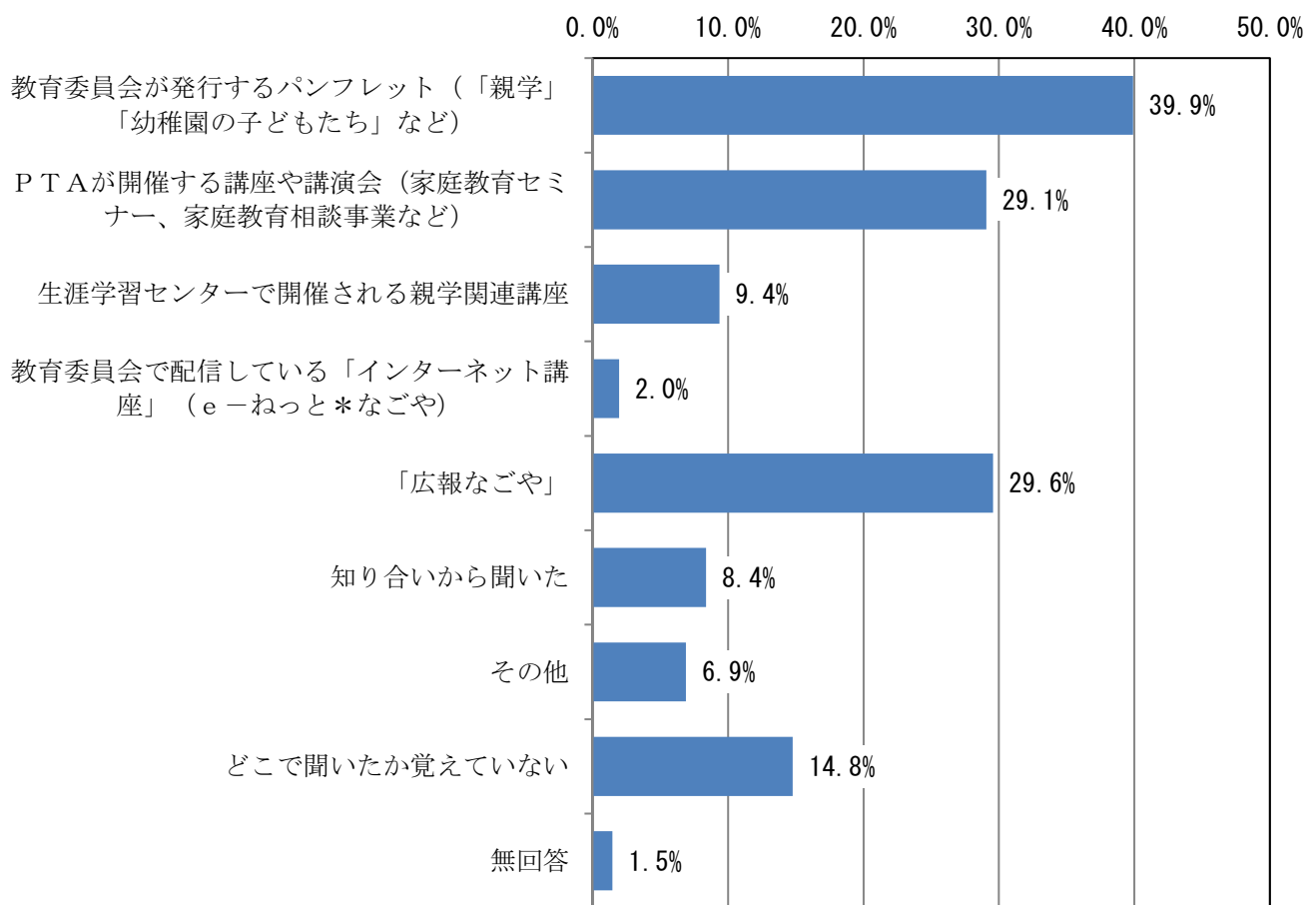
N=910



《問13で1と答えた方（「親学」という言葉を知っている方）におたずねします》

問14 あなたは、どこで「親学」という言葉を知りましたか。（○はいくつでも）

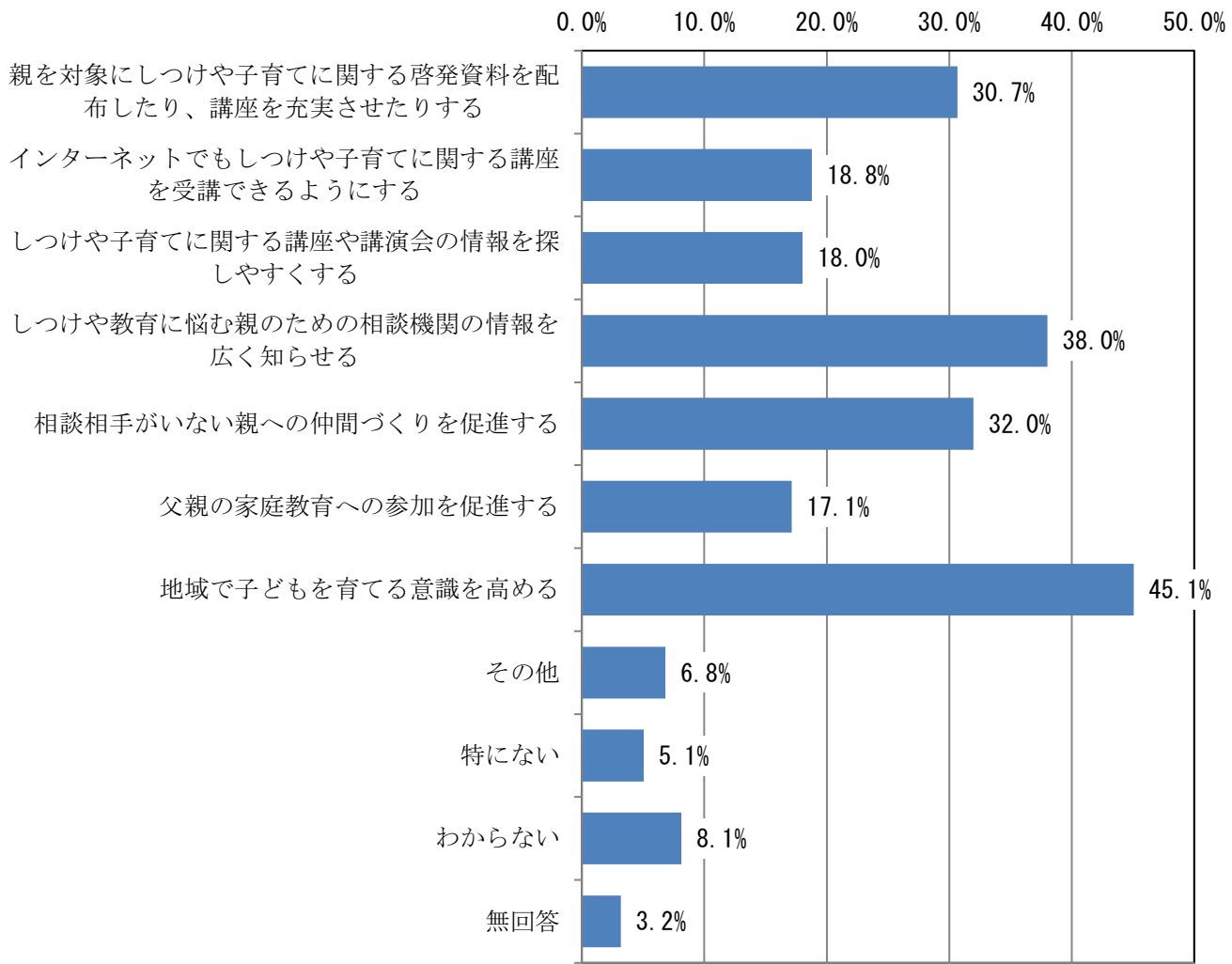
N=203



《すべての方におたずねします。》

問15 あなたは、家庭の教育力を向上させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

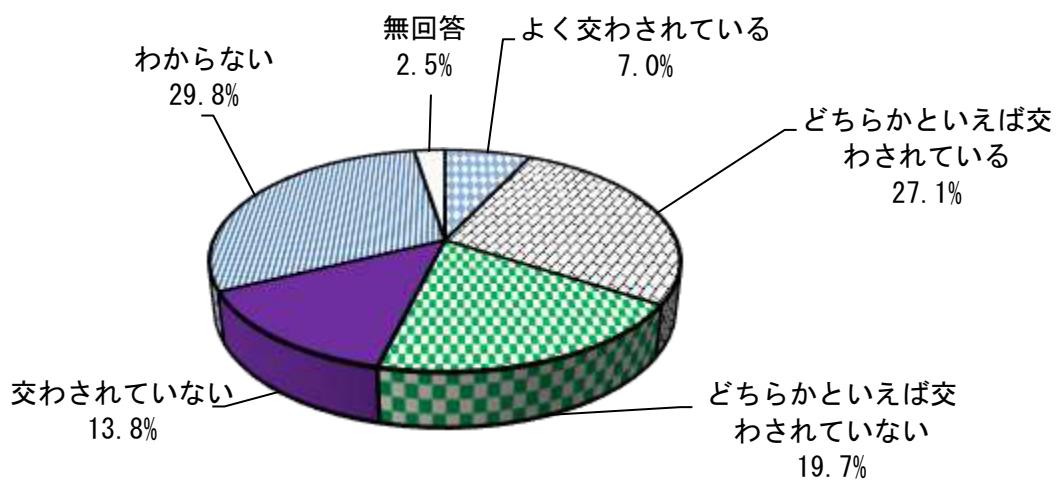
N=910



教育委員会では、「親学」の一環として、地域や学校であいさつを通して、地域の大人と子どもをつなぐを深める活動を進めています。

問16 あなたのお住まいの地域では、子どもの登校時等にあいさつが交わされていると思いますか。(○は1つだけ)

N=910



問17 家庭教育についてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

- ・まずはあいさつが大切だと思っています。
- ・知り合いではないのに、通学時の子どもたちがあいさつをしてくれ、うれしい気持ちになりました。学校や家でのあいさつが常にできているんだなあと感じました。
- ・核家族化により子どもが幅広い年代の人たちと交流する機会が減っていると感じる。地域のお年寄りや異年齢の子どもとの交流ができる場があるといいと思う。
- ・なるべく幼いころから多くの体験をする。そして、家族以外のいろいろな年代の人とも交わり、考えや生活習慣の違いを知ることは、大切だと思います。
- ・親と子の会話を大切にする。子どもの話をちゃんと聞く耳を持ち、必要であれば親の意見や考えを真摯に伝える。

ほか

名古屋市公式ウェブサイト「親学ノススメ」アドレス

<http://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000050550.html>



パンフレット「親学」は名古屋市公式ウェブサイトからダウンロードできます。